

2011 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に
小児心身医療科(旧 小児科子どものこころ診療部) を受診し、
当院において回避・制限性食物摂取症と診断された方および
そのご家族の方へ

—「小児の回避・制限性食物摂取症の予後にかかわる因子の検討」へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者：岡山大学病院小児科/小児心身医療科 岡田あゆみ

1) 研究の背景および目的

回避・制限性食物摂取症は、体が成長する小児期に起こりやすい病気で、食べることを拒否したり、無関心であることで体重が減ったり栄養不足になります。小児期に痩せていることで脳や体が成長し維持するために必要な栄養が足りなくなる可能性があるため、病気に早く気づき治療を開始することが大切です。今回の研究では、回避・制限性食物摂取症の経過が良好であるときとそうでないときに関連する事柄を詳しく調べることで、よりよい治療法や早期発見の方法を明らかにしたいと考えています。

2) 研究対象者

2011 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院小児心身医療科において回避・制限性食物摂取症と診断された方（3 歳以上 18 歳まで）

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

4) 研究方法

2011 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院小児心身医療科において回避・制限性食物摂取症と診断された方の診療情報をもとに、研究者が検討を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。氏名、生年月日など、お子さんやご家族を特定できる情報は削除して研究を行います。また、お子さんやご家族の情報が漏洩しないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ① 患者情報：年齢、性別、学年、体格、併存症、幼少期の食行動、身体症状、精神症状、心理検査結果（EAT、CBCL）、登校状態など
- ② 保護者の情報：家族構成、家族歴など
- ③ 発症に気付いた状況：食行動の懸念をいただいた人、当科受診の前に受診した診療科、受診までの期間・経緯、本人・保護者の病気のとらえ方
- ④ 治療期間、治療内容

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学小児科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

お子さんご本人やご家族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのお子さんやご家族を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、お子さんご本人やご家族が、診療の情報を研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 小児科/小児心身医療科

氏名：岡田あゆみ 田中知絵

岡山大学小児科医局 電話：086-235-7251 ファックス：086-221-4745

(平日 9 時～16 時)